

4 前計画の評価と課題

(1) ごみ減量化の評価と課題

【現状】

目標値	現状(H 26)	目標値との差
988 g	1,121 g	133 g

【評価】

- 現行計画の中間見直しを行なった平成 22 年度まではごみ排出量が減少傾向にあったことから、目標値を上方修正し 988 g としましたが、平成 23 年度以降、ごみ排出量が増加に転じ目標達成はできませんでした。
- 平成 23 年度以降のごみ排出量の増加は、①東日本大震災の影響、②団塊の世代の退職に伴う片付けごみの増加、③NHK 大河ドラマの放映による観光客の増加や景気の回復基調、消費税率の改定によるかけ込み需要等による消費の増加、等の社会的要因によるものと推定されます。
(詳細は「【資料 2】ごみの増加要因の分析」を参照)
- 平成 26 年度はごみ排出量が減少したことから、今後は震災前と同様に減少基調を示すものと推察されます。

【課題】

- ごみ排出量は震災以前の状況に戻るものと思われませんが、①高齢化と核家族の進行に伴う片付けごみ（生前遺品の整理等）の増加、②家庭・事業所からの食品ロスの増加、③介護施設や自宅介護の増加による大人用おむつの増加等、ごみ排出量を増加（減りにくく）させる要素の存在が確認できます。
- 本市では、7 種 14 分別の実施により市民の分別が徹底されていますが、排出されるごみの総量（ごみ排出量）については、全国平均、県内平均を上回っています。
- 市民インタビューやアンケート（※3）の結果、次の状況が考えられます。
 - ① 3 R（※4）のうち、リサイクルに対する意識と比較して、リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）の取り組みに対する意識が低い傾向にあります。
 - ② 市民や事業者が本市のごみ問題に接する機会が限られているために、問題意識を共有できていない状況がみられます。

【今後の方針】

- 排出後のごみを減量化するリサイクルについては、今後も継続した取り組みを進めるとともに、ごみそのものを減量化する 2 R（リデュース・リユース）の取り組みを大きく打ち出し、減量化の意識を浸透させていきます。
- 家庭や事業所での食品ロスや、片付けの際の衣類・家具類など減量化できるごみについては、できる限りのリデュース・リユースを推進し、ごみの減量化の実現を目指します。
- 市民の生活様式や情報入手の手段が多様化していることから、出前講座や市政だより、ホームページといった受動的・一方向的な媒体だけでなく、幼稚園、学校、事業所等での説明会、または、座談会やワークショップ形式の意見交換会など、能動的・双方向な情報交換の場を設けることで市民・事業者との情報共有を推進していきます。

(2) リサイクルの評価と課題

【現状】

目標値	現状(H 26)	目標値との差
17.0%	15.6%	1.4ポイント

【評価】

- リサイクルについては、これまでの分別徹底の取組みが成果をあげ、大半の市民が正しく分別しており、また、分別やリサイクル推進に対する意識も高い状況にあります。
- 市民インタビュー、アンケートや家庭から出されるごみの組成調査の結果、次の内容が確認されました。
 - ・前計画から大きく取り上げた「雑がみ（※5）」の分別については、約半数の市民の方が実践しています。
 - ・衣類等の「古布類」が「燃やせるごみ」に多く出されており、正しい分別によりリサイクルが進む可能性が高いです。
- 目標値を1.4ポイント下回る結果となりましたが、商品そのものの軽量化・省資源化がその要因と考えられます。

【課題】

- 近年、販売されている製品の種類や素材が多様化していることから、分別方法に関する悩みを抱える市民が多く、より細かい分別方法への問い合わせが増えてきています。
- 「雑がみ」や「古布」については、リサイクルできるという情報を知らない方がまだまだ多く、積極的に分別方法やリサイクルルートに関する情報提供を行なう必要があります。
- 製造メーカーの省資源化の努力により、年々資源物そのものの重量が軽くなってきていることもあり、今後分別が進み、資源物が多く集まってもリサイクル率の上昇には一定の限界があるものと考えています。

【今後の方針】

- よりわかりやすい分別の手引きの作成や積極的な情報発信を行い、正しい分別方法やリサイクルルートを周知していきます。
- 現在、行政が回収を行っていない「古布類」については、集団回収の実施団体の拡大、資源物回収業者及びリサイクルショップ等、民間事業者とも協力し、個人持込やイベント回収等、多様な手法によりリサイクルを促進します。
- 成果が出にくいリサイクル率については、目標値でなく参考値として把握していくこととし、リサイクルの推進については、これまでの取組みを継続、発展していきます。